

春川教育大学校附設初等学校との交流

本校は平成8年より、韓国江原道の春川教育大学校附設初等学校と姉妹校交流を行っています。この間、隔年で、本校児童が春川校を訪問したり、春川校児童が本校に訪問したりしながら、交流を深めてきました。

今年度は、春川校児童を本校にお迎えする年で、7月17日（水）～18日（木）に3名の先生と16名の春川校児童が親善大使として来校されました。

日程

7月17日（水）

9:45～10:15	歓迎式
10:30～11:30	文化交流会
12:00～12:30	交流給食
13:00～14:50	交流活動
15:00～15:30	ホストファミリー との対面式

☆☆☆ ホームステイ ☆☆☆

7月18日（木）

8:35～ 9:20	授業・施設見学
9:30～10:15	体験授業
10:30～11:00	歓送式



歓迎式



春川校の親善大使が到着されると、早速歓迎式が行われました。歓迎式では、本校山下校長先生、春川校イム教頭先生、鳥取大学田村理事のあいさつの後、本校児童代表より歓迎の言葉として、交流を楽しみに待っていたこと、交流の歴史と伝統をこれからも大切にし、きずなを深めていきたいと伝えました。また、春川校親善大使代表の児童も、来日の言葉を伝えてくれました。

続いて、両校のプレゼント交換を行い、2日間の交流がスタートしました。

文化交流会



歓迎式に続いて、文化交流会を行いました。これは、両校がそれぞれの学校や地域、国のことを紹介したり、伝統芸能や遊びなどの文化を紹介したりする会です。

本校は、6年生が中心となって発表を行いました。まず、本校の様子や日本の文化などをプレゼンテーション形式で紹介し、そして、箏の演奏に合わせての書道パフォーマンス、傘踊り、附小太鼓を披露しました。



本校の発表が終わると、次は春川校の発表です。春川校親善大使のみなさんも、まずは写真や動画を使って学校紹介をしてくださいました。そして、女の子は民族衣装「チマ・チョゴリ」を着て民族音楽、男の子は道着を着て武術を披露してくださいました。

それぞれの学校が、自分たちの文化を紹介し合い、児童はお互いによく似ているところや違うところを感じることができたようです。



交流給食

6年生や、春川校親善大使がホームステイをする家庭（ホストファミリー）の児童のみなで、給食を食べました。春川校にも給食がありますが、ランチルームで食べるので、日本のように教室で食べる様子に新鮮さを感じていたようです。



交流活動

1日目、午後からは、日本の色々な文化を体験してもらう交流活動が行われました。体験してもらったのは、「和太鼓」、

「傘踊り」、「浴衣の着付け」、「かな文字」、「日本の遊び」の5つです。それぞれの活動は、6年生が準備や運営を行い、春川校親善大使の案内は、ホームステイ家庭の児童が行いました。それぞれの役をこなしながら、韓国語や英語、そして身振り手振りでコミュニケーションを取り、交流を楽しみました。



ホストファミリーとの対面式

交流活動の後は、ホストファミリーとの対面式です。春川校の16名の親善大使は、1人ずつ、本校の16家庭のホストファミリー宅にホームステイをしますが、そのホストファミリーと対面するのです。各ご家族が春川校親善大使の名前を書いた「ウェルカムボード」を掲げ、名前を呼んで対面をしていきました。対面をした後は、ホストファミリーと一緒にそれぞれのお家に向いました。この後、観光をしたりショッピングをしたり、一緒に夕飯を食べたり、楽しい時間を過ごしたようです。





授業・施設見学

ホームステイで楽しく過ごした春川校親善大使は、ホストファミリーに送ってもらって登校しました。今日はまず、授業や施設の見学です。

6年生が案内をし、1年生から5年生までの授業を見学しました。外国語活動をしているクラスで一緒になってゲームをしたり、体育をしているクラスでなわとびを体験したりするなど、時折交流もしながら、楽しく見学しました。また、韓国の小学校にはほとんどプールがないようで、水泳学習にも興味津々でした。



施設見学では、理科室や家庭科室などの特別教室をはじめ、給食室なども見て回りました。韓国との違いもたくさん見つけてくれたのではないかと思います。

案内する6年生も、どういう授業かを伝えようと、ジェスチャーをしたり、知っている英語を駆使したりして、一生懸命コミュニケーションを図っていました。そんな子供たちはお互いにすっかり打ち解け、とっても仲良くなっていました。



体験授業

5年生と春川校親善大使と一緒に授業をしました。5年1組は音楽、5年2組は図画工作でした。

音楽の授業は、リズムを合わせていく面白さを体感する学習でした。みんなで手拍子を打ち、ぴたっと合うと、気持ちよくなります。それを感じながら、いくつかのリズムを合わせて心をつにしていきました。



図画工作の授業は、色画用紙や包装紙を短冊状に切った材料を工夫して貼り合わせていき、その面白さを感じる学習でした。作ったオブジェは図工室に張ったひもにつるしていき、楽しい空間ができました。

歓送式

体験授業が終わると、いよいよ今年度の春川交流の終わりが近づきます。最後の行事は、歓送式です。歓送式では、本校の山下校長先生、春川校のイム教頭先生のお別れのあいさつがありました。中で、これからも交流を深めていこうという思いを確認しました。その後、両校児童代表の言葉がありました。本校の代表児童は、ホストファミリーでもあり、楽しかった学校での交流のことや、砂の美術館に行ったり家で楽しく過ごしたりしたこと、それらを通してきずなを深めたことを伝えました。その後、両校児童が感想を発表し合



いました。とても多くの児童が手を挙げ、楽しかった思い出やお別れをするのがつらいことを伝え合いました。

そして、いよいよお別れです。最後は、全校が玄関の周りまで行き、お見送りをしました。春川校親善大使のみなさんは、多くの児童に見送られながら本校を去って行かれました。

この2日間は、児童の心に素敵な思い出として深く残っていくことと思います。